



クリーニング師

平川 尚

HIRAKAWA TAKASHI

1987年 柏崎市出身

北陸クリーニング工場は、今年で創業71年。社長である父の下、3代目として仕事を切り盛りする平川尚さんは家業に入って10年になる。

平川さんは都内の大学で経営学を学び、卒業後は不動産会社に就職。不動産投資を担当する営業として働いた。ある時、営業先の経営者から「自分の好きなことで資本があれば展開していける」というアドバイスを受け、これまで心の中にあった家業のことを考えて家に戻ることを決めたという。

祖父は北海道旭川、父は大阪で修業をした。自分は家業を一から学ぼうと、工場長に仕事を教わりながら、集配や洗いの仕事を覚えていった。

仕事をする中でワイシャツの襟汚れやシミの落ち具合が気になり、いろいろ試してみると汚れによって特性があることがわかった。もっと工夫してやってみたく、県内のクリーニング店で主催する染み抜きの勉強会「みやび洗い」に参加するようになった。そこでは毎月テーマに沿って洗いや染み抜き、素材の研究や情報交換などを行っている。平川さんは、そこで学んだことを持ち帰り、実践していくことで技術を磨き、経験を積み重ねた。

平川さんは、北陸クリーニング工場の

ホームページを作成して、染み抜きの技術や事例をインターネットで発信した。すると、県外の方から次々に、靴やスニーカー、ブランドバッグ、皮製品など、難しいクリーニングの依頼が届き、思わぬ反響に驚いた。紫外線の影響で脱色してしまう黒色の帽子、靴やかばん等の革製品には染色を施して色修正や色補正を行う技術も習得し研鑽を重ねている。経年変化することは仕方ないと、あきらめるしかなかったものが新品のようによみがえったと多くの人たちに喜ばれ、話題になっている。

平川さんは、父に勧められて入会した柏崎青年会議所(JC)の活動にも力を入れている。JCは、仲間と自己研鑽を積みながら、地域のために活動する団体。JCが推進するSDGsの考え方を仕事にも取り入れ、ハンガーの回収、クリーニングのビニールを回収して緩衝材に利用したり、履けなくなった子供の靴、制服(中学・高校)をリユースしたりする活動を続けている。

これまでJCで学び、経験してきたことは自身の考え方や仕事にも生きている。JCは、仲間と自己研鑽を積みながら、地域のために活動する団体。昨年は第67代理事長を務め、現在は日本青年会議所の委員として出向し活動の幅を広げている。

「会員が増えることで活動の幅も広がり、学ぶ機会も増える。地元のために、ぜひ多くの方から入会していただきたい」と話している。

お問い合わせ

HP

北陸クリーニング工場

本店 柏崎市鏡町7-6
TEL 0257-22-3338
営時 7時30分～19時
休 第二土曜・日曜・祝日
(24時間受付BOXあり)



◆クリーニング チャオ
フォンジェ店(10時～19時)
TEL 20-0028
ウオロク柏崎店(9時～19時)
TEL 32-2378
ウオロク桜木町店(9時～19時)
TEL 32-2838

◆コインランドリー 洗っちゃオ
鏡町本店併設(5時～23時30分)
茨目店(24時間)

